

# 2007～2008年の県内の海面水温の特徴

2007年の海面水温の特徴(観測海域(黒潮,竹島,甕海峡中央,谷山,与路島)平均)

- 1 年平均は, 平年比較でかなり高めとなり, 1980年以降(以下省略)2番目に高い値となった。
- 2 四半期毎の平均水温は, 4～6月期を除いてかなり高めとなった。特に10～12月期は2番目に高い値となった。
- 3 各月の平均水温は, 3, 9, 10月に著しく高めとなり, 各々最も高い値となった。その他, 6, 8月にかなり高めとなり, 2, 6番目に高い値となった。
- 4 海域別では, 年平均で西薩沿岸域水温が著しく高め, 薩南沿岸水温, 鹿児島湾水温がかなり高めとなり, 各々2番目に高い値となった。奄美水温は, 4～6月期の平均水温がかなり低めとなり, 最も低い値となった。

詳細は, 「2007年県内の海面水温の特徴」をご覧ください。

2008年1～2月の海面水温の特徴(月平均)

- 1月: 観測海域平均及び各観測点で, やや高めとなった。観測海域平均, 黒潮, 西薩沿岸, 鹿児島湾内, 奄美水温は各々1980年以降3, 3, 2, 4, 4番目に高い値であった。
- 2月: 観測海域平均, 各観測点いずれも平年並みであった。

2008年3月上、中旬の海面水温の特徴

上旬: 黒潮水温, 薩南沿岸水温がやや低めとなった。

中旬: 西薩沿岸水温がやや低めとなった。